

流域対策のコストについて

雨水貯留浸透施設の事例（校庭貯留）

施設名称：真美ヶ丘中学校（まみがおかちゅうがっこう）

施設場所：奈良県北葛城郡広陵町馬見中2丁目地内

所有者：広陵町教育委員会

流域・流末河川：大和川流域 佐味田川

流域面積：2.11 ha

貯留施設面積：10,435 m²

対策の概要：校庭貯留（最大許容放流量0.051 m³/s）

浸透施設有り（暗渠排水）

最大水深30cm、平均水深15cm

貯留以外の目的：校庭として利用

事業費：約1,000万円

施設全景

雨水貯留浸透施設の事例(校庭貯留)



〔平常時〕



〔洪水時〕

ため池治水利用施設の事例

施設概要

施設名称 : 鰻堀池 (うなぎぼりいけ)

施設場所 : 奈良県大和郡山市城内町

所有者 : 大和郡山市

流域・流末河川 : 蟹川流域 紺屋川

流域面積 : 24.89 ha

対策量 : 15,800 m³ (治水容量)

対策の概要 : 調整池方式

(最大許容放流量 12.44 m³ / s)

事業費 : 約4億円

施設全景

ため池治水利用施設の事例(鰻堀池)

